

JFA小学校体育サポート研修会IN山口

2023.12.25(月)



令和5年(2023年)12月25日(月)山口市立小郡小学校体育館において、JFA 小学校体育サポート研修会が山口市小学校教育研究会体育部会と山口楽しい体育授業をつくる会との合同研修会として実施されました。

指導者として、公益財団法人 日本サッカー協会 JFA コーチ(一般社団法人 佐賀県サッカー協会 副会長) 中西 順也 様をお招きし、サッカーのみならず、体ほぐしの運動から体づくり運動、ゲームやボール運動へとつながる流れで、体育科授業づくりについてご指導いただきました。冬休みに入っ

てすぐでしたが、若い先生方を中心に、35名の先生方の参加がありました。

まず、平川小学校の山本校長先生の挨拶と講師の紹介がありました。その後、すぐに子どもへの接し方や言葉かけなどの留意点について説明がありました。そして、ウォーミングアップ(動きづくり)として、気分を盛り上げたり、人間関係づくりをしたり、主運動へのきっかけとなったりするような活動を行いました。参加者も自然と笑顔になり、体も心もほぐれてきました。

次に、参加者一人一人が、新聞紙を丸めビニル袋に入れた手作りの「My ボール」を作製しました。その後、作製した手作りのボールや柔らかいスポンジのサッカーボール、ドッジボールなどを使い、簡単な動きや遊び(活動1、活動2)、そしてゲームへと発展するような流れで実技を体験しました。

最後に、講話があり、参加者全員がいただいた「新・サッカー指導の教科書」の内容を中心に、その考え方や内容について説明がありました。基本的な考え方である「**構想は逆算 実施は積み上げ**」に基づき、45分の構成1学年の構成、小学校の構成を学ぶことができました。その中で、「**効率的な場づくり**」「**ルールの工夫**」「**どの子も楽しめる**」「**技能差の克服**」「**たくさん動く**」ことなどを大切に、教材の工夫や場の設定の意味についても説明を受けることで、より楽しい授業づくりについての理解が進みました。

さらには、研修内容を生かして3学期に行うことが多いボール蹴り遊びやサッカーなどの授業づくりについて協議する時間が設定され、授業に生かす取り組みも行われました。今回の研修は、若い先生方を中心に多くの先生方が参加されました。実技も講話も研究協議も熱心に行われ、サッカーの授業づくりだけでなく、体育科の授業づくり全てに通じる考え方や内容を学ぶことができた貴重な研修会となりました。

(次頁に研修の具体的な活動の様子を紹介する。)

研修会の具体的な様子



ウォーミングアップ(アイスブレイク)

ウォーミングアップは、ボールを使わずに、ゲームをするメンバーのアイスブレイクを兼ねて行った。「じゃんけん」や「手押し相撲」、など、互いの人間関係を培うような運動を取り入れ、緊張感をほぐすような内容が多く含まれていた。次第に参加者の笑顔が増えていった。



ウォーミングアップ (ほぐしの運動)

ウォーミングアップ (ほぐしの運動) は、M_Yボールや柔らかいスポンジボールなどを使って、恐怖心を取り除きながら、個人や集団でボールになれる運動遊びを中心に活動した。

低学年や運動の苦手な子どももいることを意識した内容が多く取り込まれていた。



集団での運動遊び

ここでは、集団での動きづくりが身に付くような「川渡り」をベースに活動が展開された。その中で、最初に作った新聞紙のボールやソフトサッカーボールなどを使って、ルールや場の工夫などにより、ボール(サッカー)ゲームの基本となる動きづくりやスペースの見つけ方などが楽しく身に付くような内容になっていた。



ゴール型ゲームの紹介

ここでは、ゴール型の様々なミニゲームを実践した。簡易的な場やルールを工夫することで、技能差や個人差がある程度改善されることが保障されることがわかるような内容であった。

ボール運動が苦手な子どもたちにも楽しめるゲームが紹介され、授業に生かしていくことができる内容になっていた。